



*Let's enjoy the future!*

# 第60期 報 告 書

平成27年3月21日から平成28年3月20日まで



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。ここに、当社の第60期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向が続いているものの、海外では新興国経済の減速や欧州での世情不安などが懸念され、また国内にあっては未だ個人消費に力強さがないなど、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが関係する業界におきましては、オート機器の分野では、旺盛な設備投資が見られ好調に推移いたしました。情報機器の分野では、内外競合と激しい価格競争が続く厳しい状況となりました。また、生活機器の分野では、個人消費が低調で厳しい市場環境が続いており、住設機器の分野では、公共工事において不調、不落等が生じる不透明な状況となりました。

こうした状況にあって当社グループは、事業の核となる組織、人材、工場設備等について、収益性を指標とした選択と集中による見直しを進め、生産性の向上に努めてまいりました。また、商品とそれに付帯するサービスの品質を高めるため、人材育成の強化と人員配置の最適化をはかってまいりました。いずれも短期で効果が得られる取組みではありませんが、健全な企業体質を目指し着実に成果を重ねております。

この結果、当連結会計年度の売上高は204億5千9百万円（前期比5.8%増）、経常利益は6億2千4百万円（前期比21.3%減）、当期純利益は3億9千4百万円（前期比16.1%減）となりました。

今後の経済見通しは、国内景気は減速傾向となることが懸念され、また海外の経済環境も厳しい状態が続くものと予想されます。

当社グループは、こうした経済環境に過度に左右されることのない、質実で健康な企業へと体質改善をはかるため、以下の5点の課題に取り組んでまいります。

第1に、企業体質の強化には、新商品や新規ビジネスの開発が必要条件であり、顧客の視点に立ったモノ、サービス、デザインを志向し発想できる組織と人材が必要です。このため、組織を超えた部門、拠点の連携や人的リソースの最適化をはかり、新たな商品戦略、事業戦略及びブランド戦略を推進してまいります。

第2に、当社グループが広く認知され、有益な情報発信ができるよう、ブランド強化をはかってまいります。その活動としては、対外向けのコーポレートブランディング、グループ内のインナーブランディング及び学生等に向けた採用ブランディングがあり、相互に連携させ総合的な改善に努めます。

第3に、更なる合理化、コスト低減を目指し、設計、生産、販売の各プロセスから調達先に至るまで、聖域なく見直してまいります。また、工場の設備、レイアウトや人員配置など、投資効果と事業継続の観点から間断なく最適化をはかってまいります。

第4に、IT基盤を整備、改善し、これを利用することにより、当社の人材育成の課題とする、(a) 労働環境の改善、(b) 公平な人事評価の構築、(c) 知的財産のマネジメントといった事項の改善をはかってまいります。

第5に、在庫管理、合理化及びVA（価値分析）の徹底といった基本的な活動を重ねるとともに、為替変動、金利上昇などの外部環境変化や各事業の進捗に基づき、キャッシュフロー及び資金調達の最適化をはかってまいります。

以上を課題として取り組んでまいりますので、株主の皆様には、何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## オート機器事業

主力の門型洗車機は、省エネ機器導入促進に向けた政府支援事業により、SS（サービス・ステーション）での活発な設備更新の需要が発生し、販売台数が大きく伸長しました。また、カーディーラーにおいても、全体として設備投資意欲が高く厳しい価格低減要請はあったものの、増販となりました。一方、オイル機器では、政府支援事業が継続となったローリーの需要が堅調で、CVT&ATオートチェンジャーの新機種効果も併せて着実に数字を伸ばしました。この結果、オート機器事業全体の売上高は134億2千8百万円（前期比11.2%増）となりました。



門型洗車機



一般店舗向け小型表示機

## 情報機器事業

道路工事用表示板及び石油元売向け価格表示板については、安定した投資環境から堅調に推移したものの、官需分野では、期待した大型物件が受注に至らず、大きく売上を下げた結果となりました。また、一般店舗向け小型表示機は、販売網の整備と活性化により売上は伸長しましたが、フルカラー表示装置は厳しい価格競争の中で売上を伸ばすには至りませんでした。この結果、情報機器事業全体の売上高は15億7百万円（前期比23.2%減）となりました。

## 生活機器事業

農家向け商材、一般家庭向け商材ともに市場環境の冷え込みにより厳しい状況が続き、既存製品については低調なまま推移しました。その中で、主力商品の低温貯蔵庫は、新機能を盛り込んだモデルチェンジ品が功を奏し販売が伸長しました。また、新発売した保冷精米機は、市場にない商品として受け入れられ堅調に推移しました。この結果、生活機器事業全体の売上高は37億円（前期比10.7%増）となりました。



農産物低温貯蔵庫 保冷精米機

## 業績の推移（連結）

区 分		第57期 平成24年度	第58期 平成25年度	第59期 平成26年度	第60期 (当連結会計年度) 平成27年度
売 上	高 (千 円)	18,824,871	19,449,080	19,346,931	20,459,964
経 常 利 益	(千 円)	782,158	871,298	792,623	624,143
当 期 純 利 益	(千 円)	598,444	506,764	470,047	394,423
1 株 当 た り 当 期 純 利 益		41円27銭	34円95銭	32円41銭	27円20銭
総 資 産	(千 円)	19,641,308	19,753,904	20,269,828	19,388,919
純 資 産	(千 円)	8,020,954	8,667,819	9,609,961	9,721,844

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成28年3月20日現在)	(平成27年3月20日現在)
(資産の部)			
流動資産		10,096,112	10,648,775
固定資産		9,291,812	9,619,063
有形固定資産		6,055,265	6,136,416
無形固定資産		1,227,738	1,354,938
投資その他の資産		2,008,808	2,127,708
繰延資産		994	1,989
資産合計		19,388,919	20,269,828
(負債の部)			
流動負債		6,486,201	8,180,331
固定負債		3,180,874	2,479,535
負債合計		9,667,075	10,659,867
(純資産の部)			
株主資本		9,329,262	8,978,905
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,951,143	2,951,143
利益剰余金		3,514,990	3,164,612
自己株式		△510,424	△510,402
その他の包括利益累計額		392,582	631,055
その他有価証券評価差額金		174,205	327,459
繰延ヘッジ損益		△32,029	28,719
為替換算調整勘定		162,794	154,202
退職給付に係る調整累計額		87,612	120,673
純資産合計		9,721,844	9,609,961
負債純資産合計		19,388,919	20,269,828

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成27年3月21日から平成28年3月20日まで	平成26年3月21日から平成27年3月20日まで
売上高		20,459,964	19,346,931
売上原価		14,341,273	13,230,595
売上総利益		6,118,691	6,116,336
販売費及び一般管理費		5,491,749	5,292,394
営業利益		626,942	823,942
営業外収益		100,549	98,879
営業外費用		103,348	130,198
経常利益		624,143	792,623
特別利益		9,110	17,878
特別損失		2,907	22,419
税金等調整前当期純利益		630,346	788,082
法人税、住民税及び事業税		278,634	309,789
法人税等調整額		△42,712	8,246
少数株主損益調整前当期純利益		394,423	470,047
当期純利益		394,423	470,047

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成27年3月21日から平成28年3月20日まで	平成26年3月21日から平成27年3月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,832,886	859,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		△565,607	△208,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,263,954	△668,910
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,229	45,365
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		4,554	27,133
現金及び現金同等物の期首残高		675,090	647,956
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		5,862	—
現金及び現金同等物の期末残高		685,508	675,090

## 連結株主資本等変動計算書

当期(平成27年3月21日から平成28年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	3,164,612	△510,402	8,978,905	327,459	28,719	154,202	120,673	631,055	9,609,961
会計方針の変更による累積的影響額			71,964		71,964						71,964
会計方針の変更を反映した当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	3,236,576	△510,402	9,050,870	327,459	28,719	154,202	120,673	631,055	9,681,926
当連結会計年度変動額											
剰余金の配当			△116,010		△116,010						△116,010
当期純利益			394,423		394,423						394,423
自己株式の取得				△22	△22						△22
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)						△153,254	△60,749	8,592	△33,061	△238,473	△238,473
当連結会計年度変動額合計			278,413	△22	278,391	△153,254	△60,749	8,592	△33,061	△238,473	39,918
当連結会計年度末残高	3,373,552	2,951,143	3,514,990	△510,424	9,329,262	174,205	△32,029	162,794	87,612	392,582	9,721,844

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成28年3月20日現在)	(平成27年3月20日現在)
(資産の部)			
流動資産		9,138,702	9,917,059
固定資産		9,219,113	9,440,968
有形固定資産		4,682,888	4,726,401
無形固定資産		368,904	378,379
投資その他の資産		4,167,320	4,336,187
資産合計		18,357,816	19,358,028
(負債の部)			
流動負債		6,342,583	8,168,022
固定負債		2,962,767	2,299,580
負債合計		9,305,351	10,467,603
(純資産の部)			
株主資本		8,906,383	8,530,254
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,951,143	2,951,143
利益剰余金		3,092,111	2,715,960
自己株式		△510,424	△510,402
評価・換算差額等		146,081	360,170
その他有価証券評価差額金		178,111	331,451
繰延ヘッジ損益		△32,029	28,719
純資産合計		9,052,465	8,890,424
負債純資産合計		18,357,816	19,358,028

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成27年3月21日から平成28年3月20日まで	平成26年3月21日から平成27年3月20日まで
売上高		18,293,750	17,007,925
売上原価		12,882,744	11,607,578
売上総利益		5,411,005	5,400,347
販売費及び一般管理費		4,924,447	4,749,069
営業利益		486,558	651,277
営業外収益		188,315	120,898
営業外費用		81,897	126,029
経常利益		592,976	646,146
特別利益		6,213	17,859
特別損失		241	2,698
税引前当期純利益		598,948	661,308
法人税、住民税及び事業税		219,405	261,214
法人税等調整額		△41,954	7,812
当期純利益		421,497	392,280

## 株主資本等変動計算書

当期 (平成27年3月21日から平成28年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	別途積立金	圧縮記帳積立金						繰越利益剰余金	
当期首残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	214,570	1,099,389	△510,402	8,530,254	331,451	28,719	360,170	8,890,424
会計方針の変更による累積的影響額							70,663		70,663				70,663
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	214,570	1,170,053	△510,402	8,600,918	331,451	28,719	360,170	8,961,088
当期変動額													
圧縮記帳積立金の積立						6,462	△6,462						
剰余金の配当							△116,010		△116,010				△116,010
当期純利益							421,497		421,497				421,497
自己株式の取得								△22	△22				△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										△153,339	△60,749	△214,089	△214,089
当期変動額合計	-	-	-	-	-	6,462	299,025	△22	305,465	△153,339	△60,749	△214,089	91,376
当期末残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	221,032	1,469,079	△510,424	8,906,383	178,111	△32,029	146,081	9,052,465

## 1. 特例認定（プラチナくるみん認定）企業、職場いきいきアドバンスカンパニーを取得

2015年10月、長野労働局より次世代育成支援対策推進法に基づく「特例認定（プラチナくるみん認定）企業」として認定されました。12月には長野県が推進する仕事と子育ての両立のための「社員の子育て応援宣言」に登録されました。また、契約社員から正社員への雇用転換制度、ノー残業デーによる職場環境の改善などが評価され、長野県より2月「職場いきいきアドバンスカンパニー」として認証されております。今後も、仕事と家庭の両立支援（ワークライフバランス）の推進に取り組んでまいります。



## 2. 株式会社佐藤工業所と業務提携

当社は、次の成長戦略の一環として防災事業への進出を検討し、消防関連機器などの開発・設計・製造を行っている株式会社佐藤工業所との業務提携契約を2015年7月1日に締結し、新たな事業を開始しました。両社が有する経営資源を有効活用することで両社の企業価値向上をはかり、安定した収益基盤の確立を目指してまいります。

## 3. 新製品のご紹介

### 【オート機器】

#### ■門型洗車機「アプリス XS-903」

ドライブスルー洗車機に求められる高度な安全性と洗浄力の両立をはかりました。業界NO.1の精度を誇る車形認識システム「スラントスキャン」の解析性能アップやサイドブラシが前後方向の傾斜を可能にし、ミニバンやSUVの丸みのあるリア部も傾きを調整して最適圧洗浄で理想的な洗車を実現しました。さらにオプションで業界初のガラス系コーティングや洗車状況を画像で記録するドライブレコーダー機能の搭載など美しい仕上がりや安全機能の充実で、セルフ洗車環境を向上させました。



日本語

ありがとうございます



### 【情報機器】

#### ■多言語対応

定番LED表示機SQ・FQシリーズに多言語表示機能を搭載しました。当社が運営するエムケーサインネット（ネットワークサービス）が提供する自動翻訳サービスの連携により、編集アプリケーションで作成した日本語文章を中国語（簡体字／繁体字）、韓国語、英語に自動変換して表示することができます。また、同時にスケーラブルフォント、プロポーションアルフォントにも対応し、多彩で美しい文字表現が可能になりました。顧客の利便性と利益向上に寄与することを目指したインバウンド対応商品となっています。

### 【生活機器】

#### ■保冷精米機「冷えっ庫 精米処」「クールエース+ミル」

保冷と精米が一台で対応できる「保冷精米機」を発売しました。お米をおいしく食べるには玄米を冷やして保存、炊く前に精米するのが理想的です。保冷保存した玄米を簡単計量、玄米の量・精米度を選んでスタートキーを押すだけで、家庭で手軽にお米本来の香りと旨みが味わえます。精米方式はお米にやさしい対流式、シンプルな構造でお手入れも簡単です。



■発行可能株式総数 ..... 54,930,000株

■発行済株式総数 ..... 15,595,050株

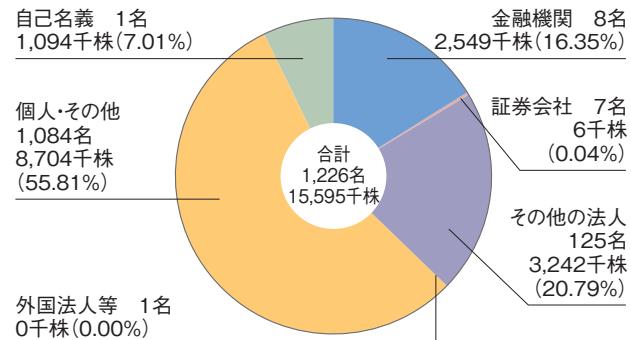
■株主数 ..... 1,226名

## ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
丸山永樹	1,360,400株	8.72%
東京中小企業投資育成株式会社	1,170,000	7.50
大久保文夫	850,948	5.45
株式会社八十二銀行	721,000	4.62
株式会社みずほ銀行	721,000	4.62
三井住友海上火災保険株式会社	580,660	3.72
丸山繁夫	544,400	3.49
エムケー精工従業員持株会	540,432	3.46
近藤繁駕	501,700	3.21
早川弘之助	454,800	2.91

(注) 当社は、平成28年3月20日現在、自己株式を1,093,825株保有しており、上記大株主から除外しております。

## ■所有者別分布状況



## ■会社概要

商号……エムケー精工株式会社  
(MK SEIKO CO., LTD.)

本社……長野県千曲市大字雨宮1825番地  
東京本社……東京都葛飾区青戸8丁目3番5号  
MK東京ビル2F

設立……昭和31年12月17日

事業内容……オート機器、情報機器、生活機器  
の製造販売

資本金……3,373,552,500円

主要な事業所……本社・工場 長野県千曲市  
東京本社 東京都葛飾区  
信濃町工場 長野県上水内郡信濃町  
支店 札幌・仙台・東京・東関東・北関東・  
南関東・静岡・新潟・長野・名古屋・  
金沢・大阪・広島・福岡

従業員数……780名

## ■役員 (平成28年3月20日現在)

代表取締役社長……丸山将一

専務取締役……倉崎一由

常務取締役……小林文彦

常務取締役……早川和弘

取締役……竹内賢治

取締役……飯田和夫

取締役……可児敏雄

取締役……上條由紀子※1

取締役……丸山永樹

常勤監査役……大久保文夫

監査役……三浦伸昭※2

監査役……倉田浩※2

監査役……廣中龍蔵※2

※1 取締役の上條由紀子氏は、社外取締役であります。

※2 監査役の三浦伸昭氏、倉田浩氏及び廣中龍蔵氏は、社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月20日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告方法	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード) 電子公告により、当社ホームページ( <a href="http://www.mkseiko.co.jp">http://www.mkseiko.co.jp</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
1単元の株式数	100株

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、配当金振込指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度のご案内

### ①株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

### ②発行基準

宿泊優待券は、平成28年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株式数	ご優待券
1,000株～1,999株	2枚
2,000株～3,999株	3枚
4,000株～9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

### ③発行日

定時株主総会后、決議通知書に同封いたします。

### ④有効期限

平成29年6月30日まで。

## HP紹介



当社のホームページでは、会社情報をはじめとするさまざまな情報をご紹介します。アドレスは以下のとおりです。

<http://www.mkseiko.co.jp>



## エムケー精工株式会社

本社／長野県千曲市大字雨宮1825番地 〒387-8603

TEL.026-272-0601(代) FAX.026-272-4912

<http://www.mkseiko.co.jp>

E-mail / [soumu@mkseiko.co.jp](mailto:soumu@mkseiko.co.jp)

